

調査・研修等計画届出書

令和 7年 9月 26日

瀬戸市議会議長 様

議員名 新井 亜由美

政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施いたします。

記

期 日	令和7年9月28日（1日）	
調査先・研修名	子ども・親・教師の生きづらさを考える	
会場名（会場所在地）	イーブルなごや（名古屋市中区大井町7番25号）	
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）	名古屋市児童福祉センターに20年勤めた精神科医（牧真吉先生）による講演 核家族が当たり前の現在は、子どもの発達や育ちなどに関する悩みを日常的にできる場が少なくなっている。「問題」や「困りごと」が顕在化した時に初めて、学校や相談機関に相談し、必要な場合は受診をする。 しかし、私たち大人はその手前でもっとできることがあるのではと考える。実践や具体的な事例から学ぶことで、「生きづらさをかかえる子ども・親・教師」の理解や認識を広げ深めたい。	
議長名の依頼	不要	依頼先（名称）
同行者名	なし	

※行程表を添付してください。

調査・研修等報告書

令和 7年 10月 10日

瀬戸市議会議長 様

議員名 新井 亜由美

政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施したので報告いたします。

記

期 日	令和7年9月28日（1日）
調査先・研修名	子ども・親・教師の生きづらさを考える
会場名（会場所在地）	イーブルなごや（名古屋市中区大井町7番25号）
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）	名古屋市児童福祉センターに20年勤めた精神科医（牧真吉先生）による講演 核家族が当たり前の現在は、子どもの発達や育ちなどに関する悩みを日常的にできる場が少なくなっている。「問題」や「困りごと」が顕在化した時に初めて、学校や相談機関に相談し、必要な場合は受診をする。 しかし、私たち大人はその手前でもっとできることがあるのではと考える。実践や具体的な事例から学ぶことで、「生きづらさをかかえる子ども・親・教師」の理解や認識を広げ深めたい。
研修で学んだこと・キーワード等 受講後の感想	
<u>「発達論は平均的な子どもを中心に考えられてきた」</u> 講演の中で、正規分布を示し「平均的」と言われる範囲内にいる子どもたちは半分くらいであり、平均以上か平均以下の範囲内にいる子ども達が残りの半分であると聞いた。 この話から、平均以下の子どもたちは「育ちが遅れている」「育ちに問題がある」ということではなく、誰一人として同じ人間はいないし、成長も発達もバラつきがあって当たり前のだから、「遅れている」ことも「進んでいる」こともない。平均的な子どもを中心に考えられる発達論を基準に、子どもをみると、目の前の子どもの成長や可能性を見落としてしまう危険があることを学んだ。	

「学問を教える」ことと「育てること」は違う

学校で学問を教えることと、子どもを育てることについて、講師は次のように語りました。「学校では平均的に育ってきた子どもたちにわかる勉強を教えている。だから、平均的な子どもたちは勉強が分かる。育ちが平均以下だと分からない。」

これは核心の部分であると感じた。集団で教育を行う学校は、学習指導要領に学年ごと教科ごとに学びの目標等が設定されている。しかし、クラス30人の子どもたちの育ちはばらつきがあり、学習の理解度にもばらつきがある。にもかかわらず、授業は一人の教師が何十人という子どもたちに一斉に行っている。分からない子どもが存在するのは必然で、そこへの手当が絶対的に必要であるが現在の教員配置基準ではフォローできる体制ではない。

「失敗しない子育て」

子育てや育児に関する本の中には、「こうしたらうまくいった」などの「成功体験」が書いてあるものも多い。子育てに成功や正解はないはずなのに「本のようにできなかつたら失敗」と、子どもや親を否定することになってしまうこともある。

育ちの基本は「分かりあえる」ということ

講演の中で一番印象的だった部分である。講師は「育ちの基本は、分かりあえるということ」と言い、続けて「言葉では嘘をつけてしまう。喋らずに通じ合える、分かりあえる体験が必要である。それは赤ちゃんの頃にしていることが多い。その体験が脳に刻まれている。」「分かりあえる体験が乏しいと、育ちが遅れていく。」と語った。

乳幼児期から大人や自分以外の人との「分かりあえる」体験の積み重ねが、安心や挑戦などあらゆる経験へとつながり子どもを育てる。しかし、家庭環境や家族構成など様々な事情で全ての子どもが等しくその体験をできるわけではない。うまくいかなかった経験もたくさんして、支えてもらい、また挑戦できる社会であることがとても重要だが、現在は「正しいこと」しかできない社会ともいえる。

調査・研修の成果・考察
(瀬戸市への反映・自己の能力開発への寄与等)

平均にしようと思うのが大間違い

自分の子育てを振り返る時に思い出すのが「みんな違ってみんないい」「他の子と比べないで」という言葉で、子育てサロンや乳幼児検診時にかけてもらった言葉である。

しかし、子どもの成長と共に所属する場所は、保育園・学校・会社と移り変わっていき、その中で、重視されているのは「みんなと同じであること」や「正しい答え」、また成績や内申点が進路を左右する等、競争社会で生きることであるように感じる。そして、学校では「自分で考えて行動する」「話し合っ

など子どもたちに培ってほしい力があるようであるが、集団で一斉にそれらを指導する時にまず一番大切なのは、教師の「自由」であると感じる。教師の皆さんの自由な発想で一人一人の子どもたちに向き合う学びを保障できる学校であってほしい。そのためにも、教員の配置基準を抜本的に見直す必要があり、国の基準では足りないところには市単独で加配をすることを検討していく必要があると考える。

行程表

乗り換え案内ジョルダン <http://www.jorudan.co.jp/>

※往復利用の場合は、往復料金を入力してください。

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費		
							運賃	特急料金	等
7 年 9 月 28 日	新瀬戸	名鉄	往復	栄町	18.7	km	1,020	円	円
	栄	地下鉄	往復	東別院	2.3	km	420	円	円
						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
宿泊先名称					TEL		宿泊料金		
							円		
備考欄									

1,440 円

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費		
							運賃	特急料金	等
年 月 日						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
宿泊先名称					TEL		宿泊料金		
							円		
備考欄									

小計 0 円

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費		
							運賃	特急料金	等
年 月 日						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
宿泊先名称					TEL		宿泊料金		
							円		
備考欄									

パック等による割引など 小計 0 円

円

宿泊費 合計

交通費 合計

0 円

1,440 円

申請額合計 (宿泊費+交通費-割引代)
1,440 円